

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	代表者	田宮 崇
事業所名	小規模多機能型居宅介護三和	管理者	廣川 丈人

法人・事業所 の特徴	「住み慣れた地域で自分らしく安心して過ごせるよう生活(介護)をお手伝いします。」の理念のもと、各々がその人らしい生活が継続できるよう小規模多機能の特性を生かした支援に努めています。人に優しい町(まち)づくりの考えが、地域に根(ね)を張り、広がっていくようにとの願いを込め、月1回「まちのね」活動を開催しています。
---------------	--

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	3人	1人	1人	1人	0人	2人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員の質を向上させるために、一人で行く訪問も二人で訪問に行き、互いにどのような支援を行っているかを確認する訪問を調整する。また、ミーティングで意見をまとめ振り返りを行う。	<p>年度初めには3名の人事異動があり、職員間でも同行しての支援が実施出来た。異動職員も慣れてきた頃に、再度同行しての訪問支援を定期的に行えれば良かったが、体制の状況により調整に至らなかった。</p> <p>年度後半ではご利用者の身体状態の低下に伴い二人での対応する場面が増えた。限定的ではあるが支援方法の確認に繋がられた。次年度は積極的に同行での支援内容の確認を実施したい。</p>	<p>・常に複数人で訪問することは体制的に困難なものと推察します。ミーティングでの振り返りの効果はいかがでしたか。そもそも一人で行く訪問を複数人で訪問することを改善計画に位置付けた理由は、支援内容やケアの統一を図る目的からですか。職員間の情報共有の方法を工夫したり、一人一人の職員がケアプランの内容をより意識できるような取組みもあわせて行えるとよいのではないのでしょうか。</p>	<p>事業所の目標について各項目に対し担当者を設置し、目標達成に向けて意識的な取り組みを実施する。 定期的な担当者との面談を行い進捗状況を確認していく。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	具体的な看板の内容を検討し、地域への情報発信を行う。 センター内外で季節感を感じられるしつらえを行う。	<p>季節に応じた看板の掲示を心掛け、地域への発信に努めてまいりました。花壇や装飾なども常時見直して参りました。</p> <p>今後しっかりした看板を設置予定となっております。道路より奥にある建物にて少しでも目に留めて頂けるような情報提供の場としていきたいと考えております。</p>	<p>・看板設置や花壇の整備により、まずは地域の人に、ここはどのような所なのかと目を留めていただくきっかけの一つになったと思います。実際に地域の人から感想等を聞く機会があればよいですね。</p> <p>・「具体的な看板内容を検討し地域への情報発信を行う」となっていましたね。玄関前にイーゼルを立てて掲示物を貼っていますね。地域に対しての情報発信をより積極的にされた方がいいと思います。</p> <p>・コロナ禍において、事業所内を直接拝見することが困難な状況ですが、資料にあった内観・外観の写真からは整頓され、清潔で居心地が良さそうな雰囲気を感じ取ることができました。</p> <p>・道路沿いの道に大きな看板も大事ですが、玄関回りの看板を充実させて、ここが何をしている所なのか、地域の人たちが興味を持って立ち止まるような創意工夫をお願いします。</p>	<p>センター内の装飾、立て看板、畑作りを通じ、季節感を味わえるセンターの環境を作りを行う。</p>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>まちのねが開催できない状況にて、自主的な活動を実施していく。(清掃活動など)</p>	<p>天候を見ながら車椅子を使用し近場の外出を行った。その際に清掃活動も行えるように袋を持参する。多くのゴミがあるわけではないが、ご利用者と少しでも町への貢献に繋がれたらと考えている。 地域の方々と繋がりを持てる機会を継続して設けていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何か特別な行事を実施せずとも、日頃からできる事を積み重ね継続することも大きなことと思います。外出時の清掃活動はとても良いアイデアだと思いますので、継続しながら、さらに関わりを広げていてもらいたいと思います。 ・直接のご相談が来やすいように、玄関回りの看板への掲示物や、広報誌を活用してください。新たな広報誌の作成を期待しています。 ・事業所の活動等を地域に積極的に発信できるような具体的な取組み(看板設置もその一つですが)について、すぐできそうな事から始めて広げていけばよいと思います。 ・玄関回りの看板への掲示物や広報誌に、「介護の豆知識・現場の職員だからわかる介護の知恵袋」などを連載してはいかがでしょうか。 	<p>サポートセンター三和が訪れやすいような雰囲気づくりに努める。 掲示板や広報誌を活用し相談しやすい事業所であると認識できるよう配慮を行い、地域と関われるよう努める。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>ご利用者の住まれる地域の民生委員との関わりを持ち、情報共有を行う。</p>	<p>この度、民生委員様の交代もあり新たにご挨拶をさせて頂きました。新たな関わりより地域の埋もれているニーズなどを共有していければと考えております。 年末からはご利用される方が住まれる地区も広がってきました。担当される方との繋がりを作っていけるように働きかけていきたいと思っています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から民生委員や地域の方との関係づくり(例えば、定期的な挨拶など)を意識し、互いに相談し合える関係性を築くことができればよいと思います。 ・民生委員が新しく交代しました。三和だけでなく左近の民生委員ともしっかりと関わりを持たれることを勧めます。 ・利用者の生活全体を支えるために、積極的に利用者の生活地域を知り、民生委員や関係者等と連携することは大きなことと思います。引き続き、互いに顔の見える関係づくり、信頼関係の構築に努めてください。 ・「地域での心配事の相談が来る、地域で頼りになる存在である」というアピールがもっとできるよう、民生委員の方たちに知ってもらうことが大切です。日頃どの様にケースや家族、地域と関わっているかを知ってもらう機会を作ると良いと思います(ケース検討など) 	<p>各地域の民生委員の方、地区担当者の方と情報共有を行える体制を取り、連絡・相談が出来る体制を作る。</p>

<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>対面形式の会議が開催出来ても、参加者の意見を出しやすい様に評価資料を準備する。</p>	<p>今年度も書面開催が中心となつてしまい、皆様にご迷惑をお掛けしました。三和の状況を少しでも知って頂けるよう資料を作成しましたが、まだ伝えきれない部分が多くあったかと思えます。今年度頂戴した意見を反映しながら、双方向のコミュニケーションが円滑に行えるように必要な資料作りも改めて検討していきたいと思えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・書面で情報を伝え意見をもらうことは難しいと思えますが、わかりやすい詳細な資料を作成・配布いただき、ありがとうございました。可能であれば、日頃の利用者や事業所内の様子を拝見できるような写真等を含めていただくと、より伝わりやすいかもしれません。次年度は通常どおり対面開催でお会いできることを願っています。 ・資料は十分に詳しくわかりやすく準備されていきました。書面会議が殆どだったので、お願いの意図が十分に汲み取れなかった場面もあったと思えます。 ・運営推進会議の目的を改めて整理し、今後、運営推進会議をどのように活用していきたいか職員間で話し合うことも、会議のマナー化を防ぎ、より効果的なものになると思えます。今年度、会議内で地域の課題に対する話し合いが行われましたが、とても有意義な内容だったと思えます。 ・実際のケースの検討や地域での困りごとなどをテーマに、今後も情報交換や検討、地域での取り組みを一緒に考えていきたいと思います。 	<p>会議内で事例を提供し、現在の取り組みや関わりについて様々な立場の視点からの意見を求め支援に活かす。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>災害時、緊急時に活用して頂けるようにサポートセンターの使用方法を周知する。</p>	<p>サポートセンターとしての避難訓練を実施することは出来ましたが、コロナ禍でもあり委員の皆様への参加が難しい状況でした。</p> <p>センターの往来が可能になれば改めて参加をお願いしていきたいと考えております。</p> <p>また、災害時に活用して頂けるよう情報発信が必要ですので広報を活用しながら、地域に発信していけるよう検討していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に地域の方から協力を得られるためには、日頃からの関係構築が重要だと思えますので、事業所を知ってもらえる取り組みを継続しながら、少しずつ関係を広げられることを期待します。また、逆に、事業所として災害時に地域のためにできる事等を発信することは、地域の方にとって役立つ情報だと思えます。 ・今回の外部評価の参考資料として「サポートセンター三和 災害時行動表」を確認しましたが、内容について正直わからないことが多いです。書面で運営推進会議や外部評価を行うことに事業所の皆さまが大変ご苦労されており、また、難しい部分が多い中、わかりやすく伝える工夫をしていただき感謝しておりますが、例えば、事業所の災害時の行動に特化した内容（テーマを絞って）で運営推進会議を開催（書面、対面こたわらず）し、地域の方から意見をもらう等をするのも方法かと感じました。 	<p>地域の方の協力を得ながら避難訓練の実施を行う。参加できなかった場合も避難訓練の様子を災害時の対応も併せて地域の方へ広報活動を行いサポートセンター三和の災害時の役割について知ってもらう。</p>